

# 羅針盤



2018年11月30日(金) 第68号

「楽観主義とは、物事を成し遂げられるという信念です。希望と自信なくしては、何も達成できません」

(ヘレン・ケラー (1880 ~ 1968))

## 17 期生全員が前を見据え、歩み出そう

修学旅行後に河合塾の河邊一郎先生から進路に関する講話を聴き、大いに刺激を受けたはずだが、その効果は生きているだろうか。3年時の科目選択に関する確認や面談を終え、後期中間考査も終えた今、改めて聞きたい。「受験生という意識を持ち、歩み出しているか」

何度も聞かされてきたことだが、17期生は現役としては「最後のセンター試験学年」となる。18期生からは入試制度は大きく変わる(「大学入学共通テスト」の開始・英語4技能試験の導入など)。浪人はできないという思いから、志望を下げたいという誘惑に襲われている人もいるかもしれない。早まってはいけない、河邊先生も話されていた「志望を下げれば、努力も下がる」という言葉を思い出してほしい。高い目標を掲げ、努力を続けられるかどうか勝負だ。

「志望大学合格者の61%は、高校2年生の秋から受験準備をしていた」そうだ(バネツ欄)。もはや冬だ。ゴールを見据える。自分の現状を把握する。何をすべきか考える。志望を下げないためにも苦手科目から逃げない(「伸びしろの大きい科目」と前向きに考えよう)。今の時期は『高3・ゼロ学期』とも呼ばれる。17期生全員が受験生としての意識を持たなければいけない時期なのだ。自分の能力を過信し、慢心し、敗者となったウサギ。黙々と目標に向かって着実に歩み続けたカメ。君は、どちらだ。全速力でフルマラソンに挑むのか、今から歩き出すのか。どちらを選択する? さあ、夢の実現に向け、歩み出そうじゃないか。

12月	曜日	行 事 等	週末課題等の予定	朝学習
30日	金	面接週間 (~12/13、45分授業)		英語
1日	土	GTEC	国語・数学	
2日	日			
3日	月	GTEC追試	国提出	数学
4日	火	(40分授業日)	数Ⅱ提出	英語
5日	水	小論文講話		国語
6日	木		数B提出	総合
7日	金			英語
8日	土		国・数・英	
9日	日			
10日	月		国・英提出	数学
11日	火		数Ⅱ提出	英語
12日	水	小論文模試		国語
13日	木	(40分授業日)	数B提出	総合
14日	金	40分5時間授業・全校集会		英語
15日	土	冬季課外①		
16日	日			
17日	月	冬季課外②		数学

### ☆明日は「GTEC」

英語4技能検定試験として、今回はスピーキング試験もあります(大会等で追試の人はスピーキング以外の3技能試験)。「新入試」では「共通テスト」に加えて課されるものになります。

### ☆冬期課外(12/15,17~20)

国数英の課外を実施します。学力の定着と伸長、そして学習習慣を崩さないために、しっかりとした姿勢で取り組んでほしい。体調不良等で欠席する場合は、通常通り連絡をしてください。

# 「世界と日本のつながりを知る・考える」

～ EUが黎明高校にやってくる！(11/15(木))～

◇今回は生徒の感想を紹介します。

## ・5組 中塚 絢音

中学校でもEUについて授業で習っていたので、EUについてある程度知っているつもりでした。しかし、私が持っているEUのイメージは、国境に関係なく移動ができたり、同じ通貨を使えるなど良いところだけのものでした。今回の講演から、国境を超えて連携するEUだからこそ大変さや、世界のために活動していることを知りました。国境を自由に行き来することができるため人種の異なる人々が常に接する状態になっています。だからこそ、EU全体での人権主義が大切になります。また、どこか一つの国が利益を得ようとするすると連携は不安定になってしまいます。世界へ向けた開発援助や人道援助など、ヨーロッパのことだけでなく、世界全体のために活動していることも知りました。自国優先を第一に考えるのではなく、他国と協調することでEUは成り立っているのだなとわかりました。普段から、日本国内だけでなく、世界の動きにも興味をもっていこうと思いました。

## ・5組 柳沼 結衣

EUにも課題があり、イギリスの脱退や移民・難民問題などがあります。しかし、これはEUだけの問題ではなく、日本にも関係があると思います。例えば、日本において外国人労働者に対する差別があったというニュースを先日見ました。日本人は、外国人に対してマイナス・イメージを持っていて、あまり接したくないという面があると思います。現代はグローバルな社会であって、世界中の人が共存していかなければいけない時代であると私は考えているので、そこは改善すべき点だと思います。日本はEUと協定を結び、新たな協力体制が築かれているそうです。これを機に、日本ももっと世界に目を向け、私自身も世界に通用するような人間になっていかなければならないと思いました。

## ・2組 武田 佳乃

EUについてあまり考えたことがなかったので、今回の出前授業でEUのことや日本との関わりについて知ることができて良かった。講演の中で、EUが死刑廃止を進めているという話があった。このことについては、授業等で世界に死刑廃止が広まっているのは知っていた。けれども日本には、まだ死刑がある。重い罪を犯した人を死刑にするのは、被害にあった側からすれば当然のこのように思えてしまう。しかし、人権を考えると微妙なところだなと思った。私は、死刑は罪を償うには重すぎると思うので、EUのように日本も廃止の方向に行ってもよいような気がした。

移民・難民問題にも興味を持った。質問にもあったが、移民の受け入れから治安が悪くなり、国民に移民の受け入れに反対する動きがあるのを聞いて、これはEUだけでなく世界全体の問題なのだから、日本も消極的にならずに考えていかなければならない課題だと思った。

今回、様々な現状をEUの関係者から聞くことができてよかった。世界にも、もっと目を向けていきたいなと思った。

